

1 児童の体力・運動能力等の現状

令和4年度の新体力テストの結果では、50m走では、男子では6学年中3学年が、女子では、全学年が、全国から5ポイント以上のマイナスとなった。20mシャトルランでは、男子では6学年中1学年が、女子では、6学年中3学年が、全国から5ポイント以上のマイナスとなった。※全国を上回っているのは、男女とも1学年のみであった。上体起こしでは、男子では6学年中2学年で、女子は、6学年中3学年で全国から5ポイント以上のマイナスとなっている。

また、「運動が好き」「体育の授業は楽しい」と肯定的に回答した割合は、どちらも男女とも90%を越えている。

2 児童の体力・運動能力等の現状から分析した課題

本校においては、特に「動きを持続する能力」と「すばやさ」について課題が残る結果となっている。

また、アンケートから運動することを好み、体育授業にも積極的に楽しみながら参加している児童が多いといった結果を受け、より一層技能を高められるような授業改善が必要である。

3 学年ごとの目標（数値目標）

<体力・運動能力>

学年	目 標	
1年	※ 重点を以下の3種目とし、得点が全国と同等となるようにする。	
2年		
3年		
4年		・ 50m走
5年		・ 20mシャトルラン
6年		・ 上体起こし

<生活習慣・運動習慣>

学年	目 標
1年	全児童において ・ 「運動が好き」とする児童90%以上 ・ 「体育の授業が楽しい」とする児童90%以上 とする
2年	
3年	
4年	
5年	
6年	

4 児童の体力・運動能力等に応じた具体的な取組

(1) 体育授業内での取組

- ① 体育の授業での運動時間（量）の確保
- ② 全学級で準備運動に花小トレーニングを実施
- ③ 運動に対する興味・関心を高めるための工夫
- ④ 体育の授業における課題と振り返りの設定

(2) 体育授業以外の年間を通じた取組

- ① 意欲的に体力向上をめざすことができる場の工夫
- ② 学校や家庭で運動量を確保するための啓発活動
- ③ 花小トレーニングの実施と改善

(3) 保護者や地域と連携した取組

- ① 児童の望ましい運動習慣・生活習慣を育成するための啓発活動の工夫
- ② 「生活リズムチェックシート」を活用した生活習慣の改善
- ③ 児童の望ましい運動習慣・生活習慣を確立するための中学校との連携

1校1実践 「なわとび」

5 実施計画

年月日	計 画 内 容
R5年	
4月	・新体力向上プランの周知、実践 ・体育専門委員会との連携（反復横跳びライン等の設置、体力向上に向けての取組検討）
5月	・各種スポーツイベントへの参加呼びかけ（通年） ・体育（花小トレーニング）における取組の研修
6月	・新体力テスト実施の実施方法提案、研修 ・望ましい運動習慣・生活習慣確立に向けた啓発活動 ・運動会（体育発表会）
7月	○新体力テスト実施 ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査実施 ・児童アンケートの実施、分析 ・どさんこ元気アップチャレンジ等の取組
8月	○新体力テスト結果分析 ○体力向上改善プランの評価・改善
9月	・「生活リズムチェックシート」による生活習慣の改善 ・新体力テスト結果の共有及び授業改善等の取組検討 ・体育専門委員会との連携
10月	・中学校との連携による啓発活動 ・どさんこ元気アップチャレンジ等の取組
11月	・保護者評価の実施 ・児童アンケートの実施
12月	・冬休み中の運動時間確保に向けた啓発活動
R6年	
1月	・「生活リズムチェックシート」による生活習慣の改善 ○保護者への調査結果の説明 ○体力向上改善プランの評価・改善
2月	・学校運営協議会の開催と意見交流 ・学校評価結果の公表 ・児童アンケートの実施、分析
3月	○新体力向上改善プランの作成 ・新年度の学校経営方針の提示

6 評価方法

(1) 体育授業内での取組

- ① 管理職による授業参観
- ② 全国体力・運動能力、運動習慣等調査による評価
- ③ 学校評価・児童アンケートによる評価

(2) 体育授業以外の年間を通じた取組

- ① 全国体力・運動能力、運動習慣等調査による評価
- ② 職員自己評価、児童評価による評価
- ③ 学校評価による評価

(3) 保護者や地域と連携した取組

- ① 全国体力・運動能力、運動習慣等調査による評価
- ② 「生活リズムチェックシート」の結果による評価
- ③ 学校運営協議会、小中連携協議会等による評価